

くさくさぐさくさ 種々

岩木山虹農園便り 5 2 号

発行元 岩木山虹農園
弘前市葛原字大柳 171-1
TEL 090・3757・8174
Email oiwaki2021@outlook.jp
文責 前田 尚人

処暑ですが、関東以西はまだまだ暑い日が続きそう。岩木山のふもとの夜は、涼やかに秋虫の鳴く声を楽しむ時間を持てるようになりました。岩木山虹農園では、大根、白菜、菜っ葉類等秋野菜の種まきが終わりました。種まきしつつ、播いた個所にはかわいいうち葉が出てきています。同時に勢いよく伸びている秋草。田畑にて毎日除草に勤しんでおります。自然が人間のためだけに存在するのではないのを承知しています。この草の勢いを感じるのには「地球の力」です。勢いがよい草を見ると惚れ惚れします。この力によって野菜もわれわれも生かされているのですから。

第四回 配達

南瓜

かちわり南瓜 か デリシヤス南瓜
大きいものは半分にお渡ししました。

デリシヤス

かちわり



冬至用（十二月配達）に南瓜を植えました。こちらも楽しみにしてください。

胡瓜

相模半白胡瓜 か 奥武蔵地這胡瓜

茗荷

小松菜

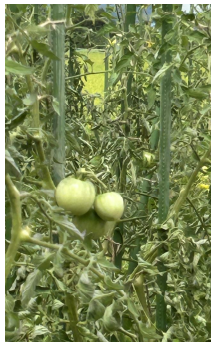
炒め物やおひたしにどうぞ。

お詫び 「トマト」について

三〇〇株のトマトを植えて、たくさん送ろうと期待していたトマトですが、株本体が弱いためか、今年のトマトはほとんどが裂果で、皆様にお渡しできないのが非常に残念です。枯れてしまった株もたくさんありましたが、復活したトマトもありました。引き続き、手をかけ続けます。



復活に期待



第五回配達予定 九月五日（金）
予定品目

茄子、枝豆、トマト等

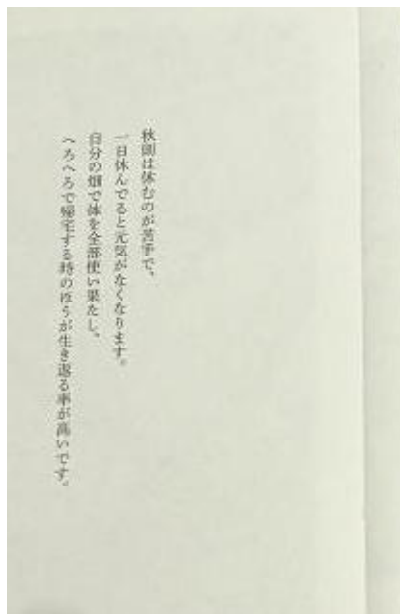
『ある、りんご園の一年』

スマート農業（ICT、ロボット化 AI、農薬、肥料を駆使した農業）という分野があります。一方、自然栽培農家はその真逆にあります。かなり土くさく、ハードな農業といえます。

この七月に上梓された『ある、りんご園の一年』は自然栽培農家、木村秋則さん（現在七五歳）とその家族の「一年」を綴った本です。次女でりんご栽培を父木村秋則さんと続けている木村江利さんの写真や文章には虚飾がなく、自らを律する正直さでりんご栽培の四季と家族、そして感動する自分が書かれています。自然栽培農家である筆者にとって肉体的にも精神的にも、感情的にも「ああ、そうだなあ・・・」と共感するところが多いのですが、圧倒されるのは「愛」です。木村さんとその家族には、身の回りの全てに対するいっつくしみがあがり、バカがつくほど優しく、いっしょけんめいなのです。自分もこのような姿でありたいと、つよく思われる本です。
※裏面に購入方法等があります。



『ある、りんご園の一年』 写真・文 木村江利



この本は書店では販売しておりません。出版元では、本屋に置かれると粗末にされる可能性があり、売れ残るといわずに裁断されてしまう今の流通に乗せたくない意向です。また、一冊ずつ思いを込めて確実に人に渡したい、という意図があるのです。

個人的にこの本の素晴らしさを強く感じ、自ら「書店」となって本を仕入れました。ご興味を持たれ購入を希望される方は、ご連絡ください。

『ある、りんご園の一年』購入方法 について

1 価格

税込み3,080円ですが、**2,800円**で販売いたします。

2 申込方法

ショートメール（「〇〇です。本を希望」）等でお知らせください。（090-3757-8174 前田）

3 お渡し

次回の野菜の配達時に、発送あるいは配達いたします。

4 お支払い(本が届いた後で結構です。)

ゆうちょ銀行 普通預金

記号 18470 番号 05058871

名義 マエダ ナオト (前田 尚人)